

岡三情報システム株式会社 様

製品・サービス

- Flowmonコレクタ (オンプレミス)
- Flowmonプローブ (オンプレミス)

導入前の課題

- 顧客企業が利用する証券システム、サービスが多数あり、個々の通信状況の把握が困難
- グループ企業全体のWAN環境刷新にあたり、基礎となる通信状況の把握と要件整理が必要

効果

- Flowmonにより、各システムの通信状況が容易に把握でき、モニタリングと分析業務の負担を削減
- より迅速で正確な障害対応が可能になり、予防保守的な取り組みの強化にも貢献



多数の証券システムごとの通信状況をFlowmonで容易に可視化 WAN刷新や日々の運用保守の対応スピードと正確さを向上

岡三情報システムは、証券システムのプロフェッショナルとして多種多様なシステム開発と運用保守などを担っています。顧客企業の証券システムを円滑かつ安全に運用し、障害の未然防止と迅速・正確な対応のために「Flowmon」を活用しています。

背景・課題

多数の証券システムが稼働し個々の通信状況の把握が困難 グループ全体のWAN刷新で現状把握と要件整理が必要に

岡三情報システムは、証券システムの設計、開発、運用保守、マネージドサービス提供などを担う岡三証券グループのグループ企業です。岡三証券をはじめ証券会社14社（2020年5月時点）に対して、各社の業務実態を踏まえて共創しながら最適なシステムやサービスを提供しています。従来型のシステムからネット専業証券向けのフロントシステムまで幅広く手掛け、近年はRPA^{※1}やAI活用の検証、セキュリティのさらなる分析と強化にも取り組んでおり、顧客企業とその先にいる投資家のユーザー双方へより高い付加価値の実現を図っています。各社が利用するシステムを安定的に稼働させるため、障害の未然防止、障害発生時の迅速な対応にかかる体制を確立し、リソース状況の分析など予防保守的な取り組みにも尽力しています。

インフラシステム部 次長の松山和央氏は、そうした日々の運用保守業務の中で、システムごとの通信状況の把握が課題になっていたと話します。

「各社様の要望に応えるべく多種多様なシステムやサービスを開発、ご提供していますが、その数がとても多く、通信状況の把握が困難になっていました。SNMPを用いた一般的なトラフィックモニタリングでは回線全体の状況はわかりますが、システム固有の状況を捉えるには個々に作り込みが必要で、負担が大きいことも問題でした。

今後のためにも解決の必要性が高まっていた折、岡三証券グループ各社とデータセンターをつなぐイントラネット用WAN回線の刷新プロジェクトが始まりまして、通信状況の把握と要件の整理が急務となったのです。そこで着目したのがFlowmonでした。」

選定のポイント

Flowmonの使いやすさ、わかりやすさを評価 既存環境への影響が少なく展開しやすい

岡三証券グループのWAN刷新プロジェクトは2016年に始まり、岡三情報システムでは同年の中頃からFlowmonの導入を検討しました。2017年初旬には導入を終え、現在も利用を続けています。インフラシステム部の上妻敬和氏は、Flowmon選定の決め手はわかりやすさと使いやすさ、そして導入のしやすさだったと話します。

「Flowmonは取得した通信の内容をダッシュボード画面でわかりやすく見ることができ、レポート化も容易です。導入後はシステムやサービスの安定運用を支えるツールとして社内で広く活用することを念頭に置いていましたので、操作のわかりやすさも大切でした。既存のネットワーク環境に組み込む際に影響が少なく、早期に展開できる点もよいですね。競合となる製品やサービスは特になく、決断は早かったと思います。」

※1 Robotic Process Automation、ロボティック・プロセス・オートメーション

導入効果と 今後の展望

通信状況の把握・整理・分析が容易になり数々の成果につながる より迅速で正確な運用保守業務に不可欠なツールとして活用

Flowmonを利用することで、WAN刷新プロジェクトに必要な基礎データを速やかに収集でき、状況把握と要件整理に大いに役立ったとインフラシステム部の市川史将氏は話します。プロジェクトは滞りなく完了し、岡三証券グループはより確かなネットワーク環境を実現しました。その後の新たなシステム更改時にもFlowmonは問題解決に貢献しています。

「ある基盤更改の際は、データセンターと拠点間、拠点同士の通信状況を可視化して、要件表の作成が容易になりました。また、別の案件でネットワークが想定したパフォーマンスを得られないという問題が生じたとき、Flowmonでパケットの流れを確認したら原因となるボトルネックが見つかり、対策と解決につながったこともあります。」

上妻氏も、Flowmonによって日々のシステム運用の負担が削減され、

障害時の対応もより迅速かつ正確になったと評価しています。

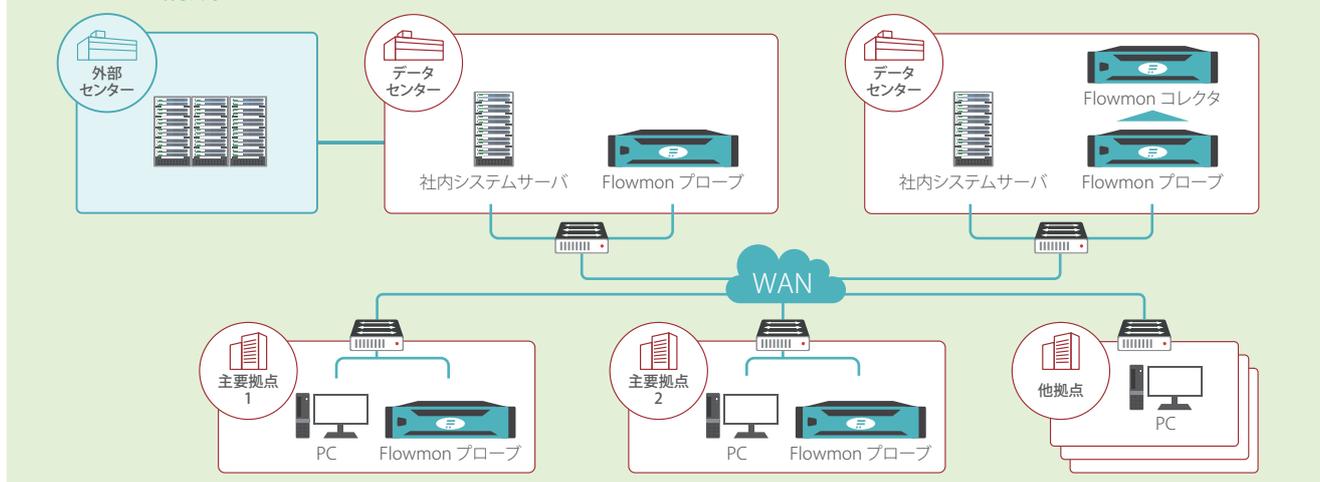
「Flowmonは特定のIPやプロトコルで通信を抽出できるので、システムごとの通信状況を捉えやすくなりました。以前のような個別の作り込みは不要になり、モニタリング業務の手間も削減されています。

また、通信内容を後追いで確認できるようになったことで、以前であれば調査を諦めていたような場面でも原因の速やかな特定と対策の実施が可能になりました。

障害発生時の分析もスピードが上がり、早期の解決はもちろんのこと、顧客企業への正確な連絡に役立っています。

今後も多数のシステムとサービスを安心してご利用いただけるよう取り組みを続けていく中で、Flowmonは必要不可欠な存在となっています。さらなる活用にあたり、オリゾンシステムズには手厚く、またスピーディなサポートをお願いできればと思っています。」

Flowmon構成イメージ



岡三情報システム株式会社
インフラシステム部 次長
松山 和央氏



岡三情報システム株式会社
インフラシステム部
上妻 敬和氏



岡三情報システム株式会社
インフラシステム部
市川 史将氏

▶ Profile

OIS Okasan
Information
Systems Co., Ltd.
<https://www.ois-okasan.co.jp/>

所在地 東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル
設立 昭和55年（1980年）7月1日
資本金 4.7億円（株式会社岡三証券グループ100%出資）
従業員数 257名（令和2年3月末現在）

Copyright (C) 2020 ORIZON Systems Co.,Ltd. All rights Reserved.「Flowmon」は、Flowmon Networks社の商標または登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標です。本資料の記載内容は、2020年5月現在のものです。本資料に記載された仕様は、予告なく変更する場合があります。

ORIZON

オリゾンシステムズ株式会社

ORIZON Systems Co.,Ltd.

〒160-0022

東京都新宿区新宿6-27-56 新宿スクエア7F

TEL：03-6205-6081（代表）

FAX：03-3205-6040

お問い合わせ先